

## <「XPC-4 映像ツール」簡易マニュアル>

### お試し版 Ver1.0

#### ■XPC-4 に USB ケーブルを接続する際の注意事項

- ・ファームウェア・アップデートの作業、もしくは「XPC-4 映像ツール」を使用するときは USB2.0 に対応した USB ケーブル (Type A [オス] - Type B [オス]) が 1 本必要です。
- ・USB ケーブルはパソコンの OS (Windows) が完全に起動してから XPC-4 に接続してください。OS (Windows) が完全に起動する前に XPC-4 に接続すると、XPC-4 がフリーズしたり、一時的に起動できなくなります。
- ・パソコンの電源をオフ (切) する場合や、「XPC-4 映像ツール」の利用を終了する際は XPC-4 から USB ケーブルを必ず取り外してください。

#### ■ファームウェアを最新版にアップデートしてください

「XPC-4 映像ツール」をご利用頂くには XPC-4 のファームウェアを最新版 (CPU Ver.1.06 以降) にアップデートする必要があります。

恐れ入りますが、ファームウェアを最新版にアップデートしてください。

ファームウェアのアップデート方法は Web ページ (XPC-4 の「ファームウェア」の欄) にてご確認ください。

※ファームウェア・アップデートの際の注意事項はよくお読み下さい。

#### ■「XPC-4 映像ツール (お試し版)」をインストールする

弊社 Web ページ (XPC-4 の「特殊機能」の欄) から「XPC-4 映像ツール」をダウンロードし、キャプチャー作業を行いたいパソコンにインストールしてください。

#### ■「XPC-4 映像ツール」をご利用いただく上で、ご注意いただきたいこと

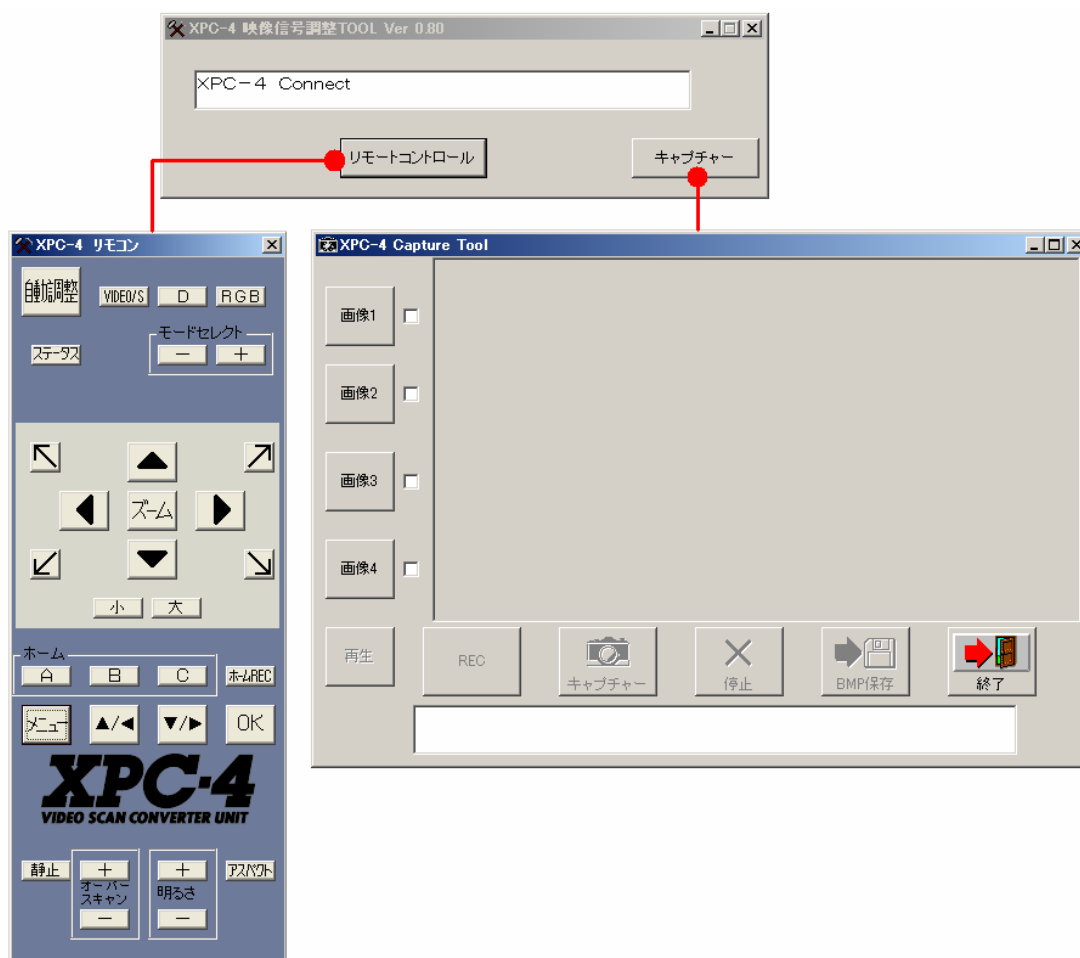
- ・「XPC-4 映像ツール」を使用しているときは、XPC-4 本体のボタンやリモコンのボタンを操作しないようにしてください。  
また、キャプチャー機能を使用しているときは、他のアプリケーションを起動したり、操作しないでください。
- ・XPC-4 でキャプチャー機能を使用するときは、「スペシャル」 - 「FPGA\_SEL」の設定を「B2」に設定し、XPC-4 を再起動する必要があります。また、キャプチャー機能を使用せず、通常モードで使用する場合はこれらの設定を「B0」に戻して XPC-4 を再起動してください。  
なお、リモコン機能に関しては「B0」でご利用ください。
- ・「XPC-4 映像ツール (リモコン機能やキャプチャー機能)」はお試し版のため、ご利用の際、正しく動作しないことがあります。

## ■ 「XPC-4 映像ツール」 とは

XPC-4にはUSB端子が内蔵されておりますが、USBケーブルでパソコンと接続することで、パソコンのアプリケーションからXPC-4を制御したり、静止画面をキャプチャーすることが可能です。

現在、「XPC-4 映像ツール」には「リモートコントロール(リモコン)」機能と「キャプチャー(静止画キャプチャー)」機能の二つの機能があります。

### < XPC-4 映像信号調整ツールの各機能 >



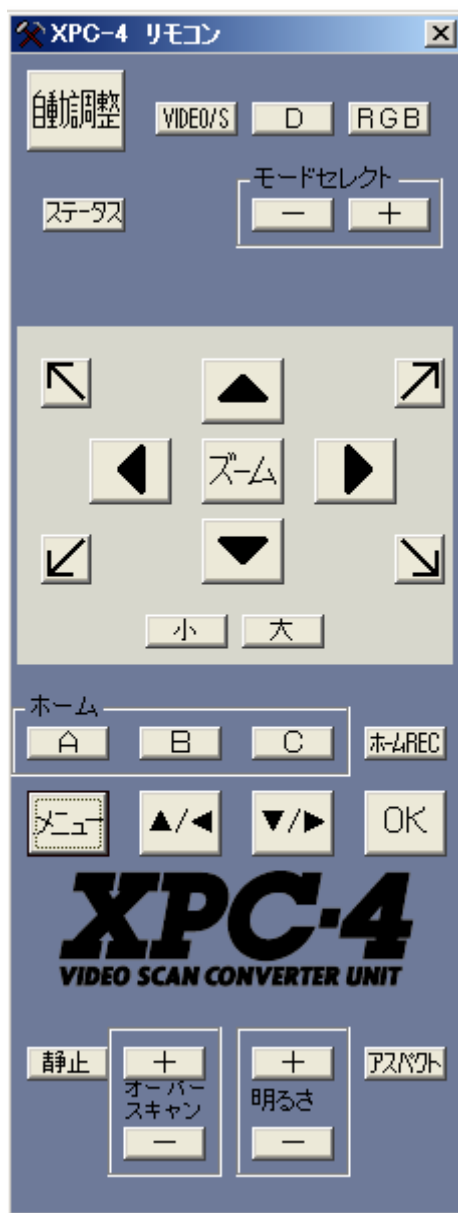
## ■機能解説

### ●「リモートコントロール」機能

XPC-4 とパソコンを USB ケーブルで接続することで、「XPC-4 映像ツール」を使用し、パソコンからリモコンと同様の操作が可能となりました。操作方法や操作画面は基本的にリモコンと同じです。

Windows パソコンと XPC-4 が USB ケーブルで接続されていれば、本機能をご利用いただけます。

「FPGA\_SEL」の設定は通常モードの「B0」でご利用ください。



※「キャプチャー」機能と同時に使用すると、XPC-4 の画面表示や動作がおかしくなる、またはフリーズすることがあります。「FPGA\_SEL」は「B0」でご利用ください。

※本アプリケーションがフリーズしてしまった場合は、XPC-4 から USB ケーブルを取り外し、パソコンと XPC-4 を再起動してください。

## ■「XPC-4 映像ツール」で「キャプチャー」機能を使用する

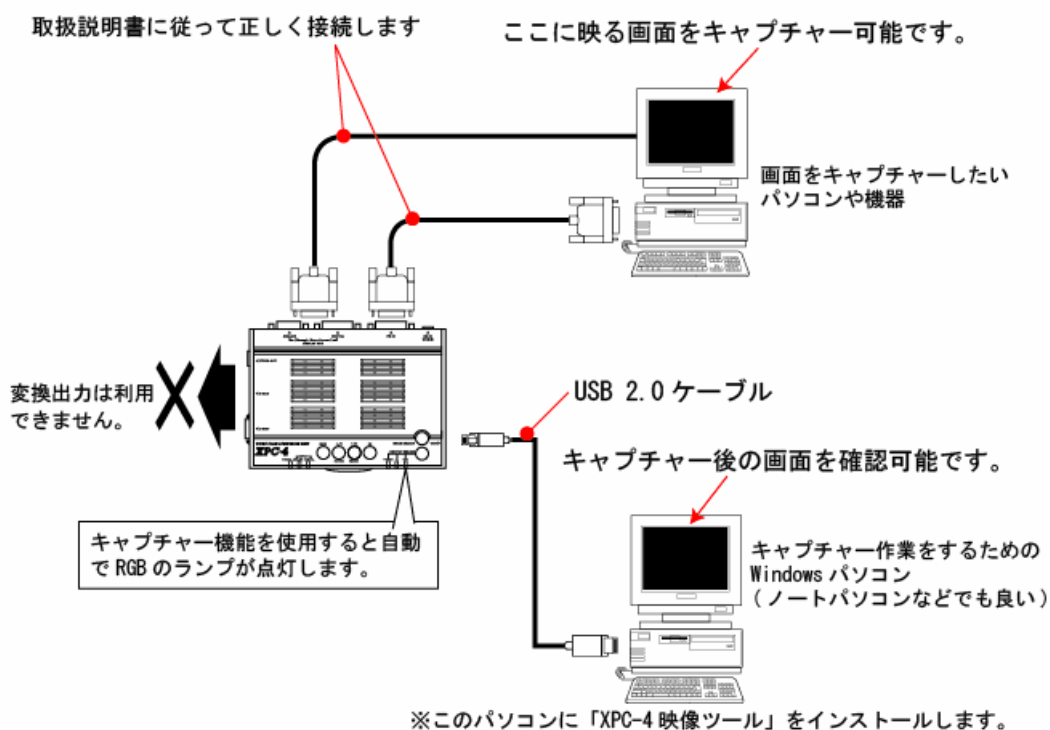
### ●キャプチャー・ツールの概要

キャプチャー機能を使用することにより、現在画面に表示されている映像を USB ケーブル経由でパソコンに静止画取り込みできます。

### ●キャプチャー作業に適した接続

XPC-4 に入力された映像はすべて原寸でキャプチャー可能ですが、現在表示されている画面を確認するため、XPC-4 が接続されているパソコンや装置自身でのキャプチャーは困難です。このため下記の様に別途キャプチャー用のパソコンが必要です。

※キャプチャー機能を使用するときは D 端子、ビデオ/S 端子から映像を出力できませんので、いわゆる「テレビ」ではパソコンの画面を確認できません。



### ●主な用途

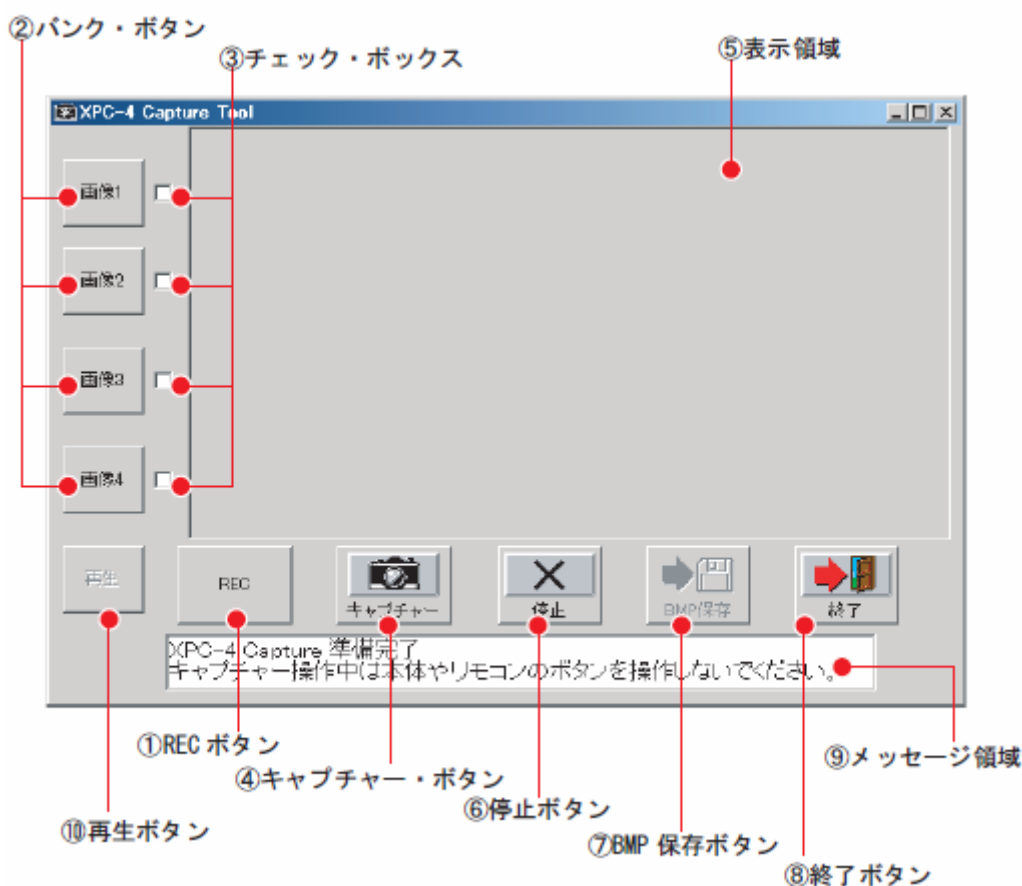
Windows が動作するパソコンでは、画面のスクリーン・ショットを記録することは OS の機能として持っているため、本機を使用してキャプチャーする必要はありません。

しかし、旧型のパソコンや、MS-DOS の機器、Windows で動作していても組込型の特殊な装置では、画面のスクリーン・ショット(画面のデータ)を記録することができません。

この様なときに、XPC-4 のキャプチャー機能を使用して、画面を他の Windows パソコンでスクリーン・ショットを記録できると便利です。

ただし、これからキャプチャーする画像を確認する必要があるため、XPC-4 でスルー出力のディスプレイが接続可能な機種に限られます(快適性を求めなければスルー出力無しでもご利用いただけます)。

## ●キャプチャー・ツールの解説



### ①「REC」ボタン

画面を一時的に XPC-4 の DRAM メモリに蓄えます。

DRAM メモリは最大4画面分容量があります。

複数の画像をキャプチャーしたいときは、このボタンを4回押すことで4枚の静止画を DRAM メモリに静止することができます。

このボタンを押すたびにチェックボックスが「オフ」になっているバンクに画像を記録します。記録されたバンクのチェックボックスは「オン」になり、チェックボックスが解除されるまで記憶され続けます。

※XPC-4の電源を「オフ」にするとバンク内部の画像は失われます。

### ②「バンク」ボタン

静止した画像データが入っている DRAM 領域(バンク)を切り替えることができます。

各バンクに記録された映像を確認したいときに、「画像 1」～「画像 4」のボタンを押してください。各バンクに静止された画像を XPC-4 が接続されているディスプレイで確認することができます。

③「チェックボックス」

「REC」ボタンを押すことによって、自動的にチェックが「オン」になります。  
チェックが「オン」になっていると、すでにその DRAM のバンクに静止画が記録されているので「REC」ボタンを押しても静止画を記録できません。  
今静止されている画像が不要になって、新しい画像を静止させたい場合は、チェックを「オフ」にして、「REC」ボタンを押してください。

④「キャプチャー」ボタン

「バンク」ボタンの「画像 1」～「画像 4」(任意のボタン)を押した後、「キャプチャー」ボタンを押すことでそのバンクに静止された画像をパソコンにキャプチャーすることが可能です。

キャプチャーされた映像は「表示領域」に表示されます。

キャプチャーの作業は USB ケーブルでデータを転送するので時間がかかります。

⑤「表示領域」

「キャプチャー」ボタンを押すと、この表示領域に画像が表示されます。

「表示領域」に表示された画像はパソコンに保存することができます。

⑥「停止」ボタン

「キャプチャー」による転送を途中で中止したい時にこのボタンを押してください。

⑦「BMP 保存」ボタン

キャプチャーが完了した後(「表示領域」に静止画を表示した状態)に、このボタンを押すことで、静止画を BMP 形式で保存できます。

⑧「終了」ボタン

キャプチャー・ツールを終了するためのボタンです。

⑨メッセージ領域

様々なメッセージが表示され、キャプチャー・ツールの状態を確認することができます。

## ●キャプチャーしてみよう

1、キャプチャー作業を行う前に XPC-4 のスクリーン・メニューの「スペシャル」内の「FPGA SEL」を操作し、「B2」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

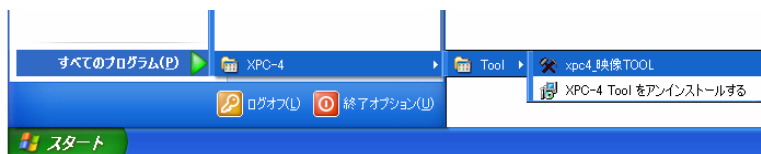
2、XPC-4 の電源の AC アダプターを挿抜して、XPC-4 を再起動してください。

(電源 : 「オン」 → 「オフ」 → 「オン」)

3、「XPC-4 映像ツール」を起動します。

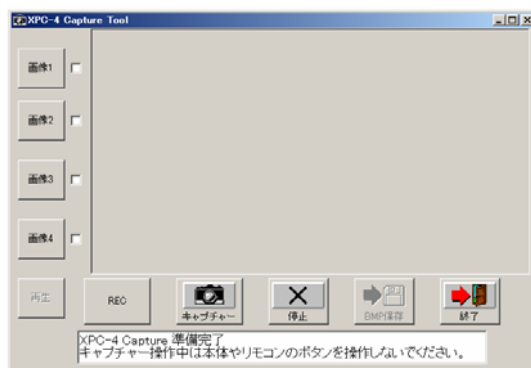
Windows の「スタート」から「プログラム(Windows2000)」または「すべてのプログラム (WindowsXP)」内の「XPC-4」→「Tool」→「xpc4\_映像 TOOL」をクリックしてアプリケーションを起動してください。

メッセージ欄に「XPC-4 Connect」と表示されれば、XPC-4 が正しく接続されています。

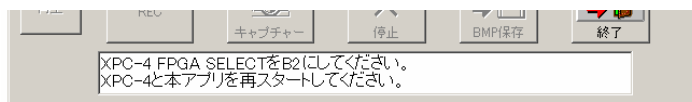


4、「xpc4\_映像 TOOL」が起動したら。「キャプチャー」ボタンをクリックします。

下図の様にキャプチャー・ツールが起動します。



※「FPGA SELECT」が、「B0」の場合は「メッセージ領域」に下記のような警告メッセージが表示されキャプチャー作業を行うことができない状態になります。(参考)



5、XPC-4に接続されている装置やパソコンにキャプチャーしたい映像を表示します。

6、「REC」ボタンを押してください。

バンク(「画像 1」～「画像 4」)のチェックボックスが「オフ」のバンクに映像が静止されます。

バンクは4個あるので、「REC」ボタンは4回まで押して、記録ができます。

(動画などで連続して静止させたいときに便利です)

※手動でチェックボックスが「オフ」をすべてオフにすれば、もう一度4回「REC」操作が可能になります。

7、「バンク」ボタン(「画像 1」～「画像 4」)をクリックして、XPC-4に接続されたディスプレイを見ながらキャプチャーしたい静止画をクリックして選びます。

(もし、キャプチャー作業中にスルー映像が見たい場合は、「再生」ボタンを押せば、「バンク」の静止画を残したまま、現在の映像(静止画ではない)を確認可能です)

8、「キャプチャー」ボタンをクリックすると、キャプチャーが開始されます。

※「キャプチャー」には時間がかかります。



9、もし、画像のキャプチャー中(転送中)に、中止したいときは「停止」ボタンを押してください。

10、キャプチャー後の画像をパソコンに保存したいときは、「BMP 保存」ボタンを押してファイルの保存作業を行ってください。

11、キャプチャー・ツールを終了する際は、「終了」ボタンをクリックしてください。



<ご注意>

- 「XPC-4 映像ツール」はお試し版のため、完全な動作を保証する物ではありません。
  
  - 「キャプチャー・ツール」使用中は、他のアプリケーションを操作しないでください。  
USB の転送に影響し、「キャプチャー・ツール」がフリーズしたり、キャプチャー画面が乱れることがあります。
  
  - 「キャプチャー・ツール」を今後利用しない場合は、スクリーン・メニューを操作し、「FPGA\_SEL」を「B0」に戻すことをお勧めします。  
もし、なんらかの理由で画面が表示できず「B0」に戻せない場合は、下記の操作で XPC-4 を工場出荷時の設定に初期化してください。
- ※ 「FPGA\_SEL」が「B2」はキャプチャー専用の機能であるため、スキャンコンバーターとしての利用ができません。

<工場出荷時の設定に初期化(リセット)する方法>

本体の「MENU」ボタンと「OK」ボタンを押しながら、XPC-4 に AC アダプターを接続し、再起動します。